

横浜市認知症高齢者等緊急一時入院事業委託 業務説明資料

本説明書に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、将来の業務（設計）実施の条件となるものではありません。

1 件名

横浜市認知症高齢者等緊急一時入院事業委託

2 履行期限

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

3 履行場所

横浜市内の認知症治療病棟等をもつ受託病院 ※精神病棟に限る

4 病床数

計2床

※1病院1床、計2床の募集です。

5 業務目的

本事業は、在宅の認知症高齢者及び若年性認知症の者、または認知症の疑いのある者（以下「認知症高齢者等」という）が、症状の急激な悪化などにより、在宅での生活が困難となった場合、緊急相談及び本人の緊急一時入院等を行い、本人の安全な生活の確保及び介護者の負担軽減を図ることを目的とする。

6 業務概要

(1) 事業内容

ア 認知症高齢者等の緊急一時入院のための空床確保

イ 平日及び精神保健指定医の勤務する休日等（土・日・祝日）の緊急一時入院

ウ 原則として14日以内の入院治療

エ 入院時に発症した、または発見された身体合併症に対し、他院との連携も含め、適切な対応を行うこと

(2) 事業体制

ア 精神保健指定医を1名以上有すること

イ 医療相談室など地域との相談・連携を行う部門を設置していること

(3) 利用対象者

市内に居住する在宅の認知症高齢者等で、次のいずれかに該当する場合とする。

ア 認知症症状の急激な悪化又は行動・心理症状（以下、「BPSD」とする。）継続のため、在宅での介護に限界をきたし、本人の安全な生活や家族による介護の継続が困難な場合

イ ひとり暮らし高齢者等で認知症症状の急激な悪化又はBPSD継続により、在宅生活の継続が困難になった場合

(4) 受入病床

認知症治療病棟等 ※精神病棟に限る

(5) 受入日時

ア 平日及び精神保健指定医の勤務する休日等（土・日・祝日）

イ 受入時間は、午前 9 時から午後 4 時までとする。

(6) 利用方法

ア 区役所福祉保健センターより、病院に入院の依頼を行う。

イ 依頼の相談は、病院の医療ソーシャルワーカーが対応する。

ウ 退院の調整は、区役所福祉保健センターおよび病院の医療ソーシャルワーカーと両者で行う。

(7) 利用者費用負担

ア 入院費用：健康保険及び後期高齢者医療等を適用する。

イ 個室利用料：実費相当分を利用者負担とする。

ウ 日用品の費用：実費相当分を利用者負担とする。

(8) 実績報告

受託者は、市が定める様式により、各月の実績を翌月 10 日までに横浜市長あてに報告する。

7 注意義務

この契約の履行にあたっては、常に善良なる管理者の注意をもって維持、保存及び運営しなければならない。

8 立入検査等

市がこの委託業務の処理を期するため、必要に応じ調査をし、または必要な報告を求めるときには、その調査を拒み、妨げ、または報告を怠ってはならない。

9 特記事項

受託事業者は、「電子計算機処理等の契約に関する情報取扱特記事項」及び「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。